

自分の価値観が全てじゃない

LAMPとは、Law and Medicine Projectの略で、医療系学生団体IFMSA-Japanの学生と法学部系学生団体ALSA Japanの学生が共同で運営・企画を行っています。

医療系の学生たちと話しているだけでは決して体験できない世界の広がる企画を行っています。今回は10月23日（日）に第2回LAMPを東京女子医科大学にて行ないました。ここ数年では最大規模ののべ50人を超える方に参加していただき、普段は互いに接する機会の少ない学部生同士、活発な意見の交換をしていただきました。

今回はオムニバス形式で、1度で3つのテーマに触れることができるお得な回となっていました！

テーマは下記の三本立でお送りしました。

①【安楽死】

尊厳死、安楽死などのレクチャーをもとに、スタッフも交じってディベートをしました。

②【障害者福祉】

SCORPの掲げる人権を考えるうえで重要な、障害者の社会福祉について実例を交えて議論しました。

③【精神疾患 / 事例検討】

実際の判例をもとに、模型などを用いて参加者体験型のワークショップを織り交ぜた事例検討をしました。面白そう、と思ったあなた、その一歩が、今までの自分とまったく異なる考え方へ誘うきっかけになると確信しています。ぜひ一度遊びに来てみてください！

執筆 帝京大学医学部3年 上垣怜央

